

## 平成22年6月期 第3四半期決算短信（非連結）

平成22年5月13日

会社名 株式会社 武井工業所  
 コード番号 5286

上場取引所等 フェニックス銘柄  
 本社所在都道府県 茨城県

(URL <http://www.takei21.co.jp>)

代表者 役職名 代表取締役社長  
 氏名 武井 厚

問い合わせ先 責任者役職名 常務取締役管理本部長  
 氏名 大内 哲朗

TEL (0299) 24-5216

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成22年6月期第3四半期の業績（平成21年7月1日～平成22年3月31日）

## (1) 経営成績

	売上高		営業利益		経常利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年6月期第3四半期	3,986	(△0.3)	351	(143.4)	300	(294.9)
21年6月期第3四半期	3,998	(△0.8)	144	(△39.3)	76	(△37.5)

	当期純利益		1株当たり 当期純利益		潜在株式調整後1株 当たり当期純利益		自己資本 当期純利益率		総資産 経常利益率		売上高 経常利益率	
	百万円	%	円	銭	円	銭	%	%	%	%		
22年6月期第3四半期	298	(267.4)	84	53	—	—	24.1	6.4	7.5			
21年6月期第3四半期	81	(△24.5)	22	99	—	—	8.6	1.5	1.9			

- (注) 1. 持分法投資損益 22年6月期第3四半期 — 百万円 21年6月期第3四半期 — 百万円  
 2. 期中平均株式数 22年6月期第3四半期 3,536,656 株 21年6月期第3四半期 3,540,199 株  
 3. 会計処理の方法の変更 有 (無)  
 4. 売上高、営業利益、経常利益、当期純利益におけるパーセント表示は、対前年同四半期増減率

## (2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円	銭	
22年6月期第3四半期	4,905	1,238	27.3	350	21			
21年6月期第3四半期	4,955	989	20.0	279	41			

- (注) 1. 期末発行済株式数 22年6月期第3四半期 3,542,000 株 21年6月期第3四半期 3,542,000 株  
 2. 期末自己株式数 22年6月期第3四半期 5,344 株 21年6月期第3四半期 5,344 株

## (3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー		投資活動による キャッシュ・フロー		財務活動による キャッシュ・フロー		現金及び現金同等物 期末残高	
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円		
22年6月期第3四半期	268	△ 26	△ 50	257				
21年6月期第3四半期	48	△ 47	△ 103	141				

## 2. 平成22年6月期の業績予想（平成21年7月1日～平成22年6月30日）

	売上高		経常利益		当期純利益	
	百万円	百万円	百万円	百万円		
通期	4,800	130	120			

(参考) 1株当たり予想当期純利益（通期） 33円88銭

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

### 3.その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)
- ① 会計基準等の改正に伴う変更 : 無
- ② ①以外の変更 : 無
- 〔(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。〕

#### (4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年6月期第3四半期	3,542,000 株	21年6月期	3,542,000 株
② 期末自己株式数	22年6月期第3四半期	5,344 株	21年6月期	5,344 株
③ 期中平均株式数(四半期累計期間)	22年6月期第3四半期	3,536,656 株	21年6月期第3四半期	3,540,199 株

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

定性的情報・財務諸表等

1. 経営成績に関する定性的情報

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、中国など新興国の経済成長による需要増大に向けた輸出産業を中心に景気回復基調にあります。国内においてはデフレの進行とそれらに伴う内需型企業の収益性の低下などがみられるなど、全体としては本格的な景気回復には至っておりません。

当社の属する建設業界におきましても、公共建設投資については平成21年度補正予算や景気対策として実施された前倒し発注の効果が薄らいできており、再び厳しさが増してきております。また、民間建設投資については緩やかに回復してきているものの、金融危機前の牽引役であった住宅や小売等の分野における建設投資の回復力は弱含みの状況が続いております。

このような経営環境のなか当社は、茨城空港関連の大型プロジェクト工事向け資材納入が引き続き好調に推移したことや、OEM等の新規製造受託品の受注活動の成果もあり、当第3四半期累計期間の売上高は、39億8千6百万円（前年同期比0.3%減）、となりました。収益面では、製造現場においては引き続きコスト削減に注力して製造原価の低減を実行し、固定費についても聖域なき圧縮に努めたことにより、営業利益3億5千1百万円（前年同期比143.4%増）、経常利益3億円（前年同期比294.9%増）、四半期純利益2億9千8百万円（前年同期比267.4%増）となりました。

なお、品種別の売上高は以下のとおりであります。

区分	品目	前第3四半期累計期間 (自平成20年7月1日 至平成21年3月31日)		当第3四半期累計期間 (自平成21年7月1日 至平成22年3月31日)	
		金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)
製品	道路用製品	809,720	20.3	770,670	19.3
	水路用製品	1,480,184	37.0	1,495,220	37.5
	擁壁・土止め用製品	292,339	7.3	345,504	8.7
	法面保護用製品	104,124	2.6	158,877	4.0
	その他	158,699	4.0	143,308	3.6
	小計	2,845,069	71.2	2,913,581	73.1
商品	コンクリート二次製品	960,448	24.0	920,775	23.1
	その他	192,549	4.8	152,382	3.8
	小計	1,152,997	28.8	1,073,158	26.9
	合計	3,998,066	100.0	3,986,740	100.0

2. 財政状態に関する定性的情報

(1) 資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第3四半期会計期間末における総資産は、前会計年度末と比較して、4億3千5百万円増加し、49億5百万円となりました。これは主に、地方自治体の前倒し発注効果等により売上債権が増加し、「現金預金」が1億9千9百万円、「売掛金」及び「受取手形」が3億9千2百万円等増加し、「棚卸資産」が1億1千5百万円等減少したことによるものであります。

(負債)

当第3四半期会計期間末の負債合計は、前会計年度末と比較して、1億4千4百万円増加し、36億6千7百万円となりました。これは主に、「短期借入金」及び「長期借入金」の返済により3千6百万円減少しましたが、仕入債務の増加により、「買掛金」及び「未払金」が1億6百万円増加並びに「賞与引当金」の計上3千万円等によるものであります。

(純資産)

当第3四半期会計期間末の純資産は、前会計年度末と比較して、2億9千万円増加し、12億3千8百万円となりました。これは繰越利益剰余金が2億9千1百万円増加したことによるものであります。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第3四半期会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、営業活動によるキャッシュ・フローの増加2億6千8百万円、投資活動によるキャッシュ・フローの減少2千6百万円及び財務活動によるキャッシュ・フローの減少5千万円により、前第3四半期会計期間末に比べ1億1千5百万円増加し、当第3四半期会計期間末残高は2億5千7百万円となりました。

なお、各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期会計期間末における営業活動の結果得られた資金は、2億6千8百万円(前年同四半期は4千8百万円の増加)となりました。この主な増加要因は、税引前四半期純利益3億円計上したことや、減価償却費8千9百万円に加え、棚卸資産の減少1億1千5百万円及び仕入債務の増加6千7百万円等によるもので、主な減少要因は、売上債権の増加2億5千2百万円及び割引手形の減少1億3千9百万円等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期会計期間末における投資活動の結果使用した資金は、2千6百万円(前年同四半期は4千7百万円の減少)となりました。これは定期預金等の払戻しによる支入3千万円等があったものの、有形固定資産の取得による支出1千8百万円及び定期預金等の預入による支出3千6百万円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期会計期間末における財務活動の結果使用した資金は、5千万円(前年同四半期は1億3百万円の減少)となりました。これは短期借入金の純増減額7千5百万円、長期借入による収入2億円等がありましたが、長期借入金の返済による支出3億1千1百万円等によるものであります。

3. 業績予想に関する定性的情報

当第3四半期における業績はほぼ計画どおり推移しており、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき予想した結果、平成22年2月12日付の「平成22年6月期 第2四半期決算短信 (非連結)」にて発表いたしました業績予想に変更はありません。

なお、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
該当事項はありません。
- (2) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。
- (3) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更  
該当事項はありません。

5. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	当第3四半期会計期間末 (平成22年3月31日)	前会計年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	281,253	81,412
受取手形	360,451	294,503
売掛金	961,314	634,543
商品及び製品	615,719	733,911
原材料及び貯蔵品	99,203	96,676
前払費用	15,458	18,065
その他	6,939	5,073
貸倒引当金	△ 32,516	△ 33,090
流動資産合計	2,307,824	1,831,096
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	390,864	412,701
構築物(純額)	178,189	198,339
機械及び装置(純額)	138,513	149,592
車輛運搬具(純額)	453	463
工具、器具及び備品(純額)	83,332	91,344
土地	1,646,881	1,646,881
リース資産(純額)	53,191	28,545
有形固定資産合計	2,491,425	2,527,868
無形固定資産		
投資有価証券	23,042	25,005
出資金	12,160	12,160
長期前払費用	2,507	3,021
長期性預金	39,000	42,000
会員権	71,344	71,344
破産校正債権等	195,186	195,801
その他	11,686	9,992
貸倒引当金	△ 253,090	△ 253,706
投資その他の資産	101,836	105,619
固定資産合計	2,598,035	2,638,964
資産合計	4,905,859	4,470,061

(単位:千円)

	当第3四半期会計期間末 (平成22年3月31日)	前会計年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	293,362	225,619
短期借入金	1,555,010	1,480,000
1年以内に返済予定の長期借入金	514,488	454,888
リース債務	14,219	7,799
未払金	237,983	199,347
未払法人税等	4,429	5,791
未払消費税等	21,943	5,234
賞与引当金	49,189	18,322
その他	210	9,563
流動負債合計	2,690,836	2,406,566
固定負債		
長期借入金	825,426	996,092
リース債務	42,717	22,172
退職給付引当金	108,255	96,717
繰延税金負債	61	779
固定負債合計	976,460	1,115,761
負債合計	3,667,296	3,522,328
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	522,323	522,323
資本剰余金	389,632	389,632
利益剰余金	327,629	35,739
自己株式	△ 1,112	△ 1,112
株主資本合計	1,238,472	946,582
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	90	1,150
純資産合計	1,238,563	947,732
負債純資産合計	4,905,859	4,470,061

(2) 四半期損益計算書  
第3四半期累計期間

(単位:千円)

	前第3四半期累計期間 (自 平成20年7月1日 至 平成21年3月31日)	当第3四半期累計期間 (自 平成21年7月1日 至 平成22年3月31日)
売上高	3,998,066	3,986,740
売上原価	2,945,176	2,779,232
売上総利益	1,052,890	1,207,508
販売費及び一般管理費	908,428	855,817
営業利益	144,462	351,691
営業外収益		
受取利息及び受取配当金	478	134
その他営業外収益	10,065	14,481
営業外収益合計	10,543	14,615
営業外費用		
支払利息割引料	78,730	62,934
その他営業外費用	190	2,929
営業外費用合計	78,921	65,864
経常利益	76,084	300,442
特別利益		
固定資産売却益	6,767	—
特別利益合計	6,767	—
税引前四半期純利益	82,851	300,442
法人税、住民税及び事業税	1,473	1,478
法人税等合計	1,473	1,478
四半期純利益	81,378	298,963

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第3四半期累計期間 (自 平成20年7月1日 至 平成21年3月31日)	当第3四半期累計期間 (自 平成21年7月1日 至 平成22年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	82,851	300,442
減価償却費	114,267	89,548
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	9,775	△ 1,189
賞与引当金の増減額 (△は減少)	25,175	30,867
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△ 489	11,538
受取利息及び受取配当金	△ 478	△ 134
支払利息・社債利息	77,242	62,934
有形固定資産の売却損益 (△は益)	△ 6,767	—
投資有価証券評価損益 (△は益)	145	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△ 315,092	△ 252,461
割引手形の増減額 (△は減少)	△ 58,712	△ 139,642
棚卸資産の増減額 (△は増加)	15,509	115,664
仕入債務の増減額 (△は減少)	135,184	67,742
その他資産・負債の増減額	39,502	43,780
小計	118,113	329,092
利息及び配当金の受取額	478	134
利息の支払額	△ 68,417	△ 58,667
法人税等の支払額	△ 2,018	△ 2,171
営業活動によるキャッシュ・フロー	48,156	268,386
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券売却による収入	1,984	—
投資有価証券の取得による支出	△ 179	△ 363
有形固定資産の売却による収入	19,781	—
有形固定資産の取得による支出	△ 46,400	△ 18,825
定期預金の預入による支出	△ 33,000	△ 36,000
定期預金の払戻による収入	—	30,000
貸付金の回収による収入	6,300	—
その他投資の増減額	3,642	△ 1,694
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 47,872	△ 26,882
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	55,010	75,010
長期借入金による収入	200,000	200,000
長期借入金の返済による支出	△ 326,166	△ 311,066
社債の償還による支出	△ 30,000	—
自己株式の取得による支出	△ 47	—
リース債務の返済による支出	△ 1,979	△ 7,641
配当金の支払額	—	△ 6,965
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 103,183	△ 50,663
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△ 102,898	190,840
現金及び現金同等物の期首残高	244,485	66,412
現金及び現金同等物の四半期残高	141,586	257,253



- (4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記  
当第3四半期累計期間 (自 平成21年7月1日 至 平成22年3月31日)  
該当事項はありません。